

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 CNS選択必修 助産師必修
担当教員			
◎高林知佳子、坪倉繁美、長谷川洋子、大戸奈穂子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 ◎高林知佳子 takabay@niigata-cn.ac.jp ◎坪倉 繁美 長谷川洋子 大戸奈穂子	【所属】 新潟県立看護大学 前 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 厚生労働省保険局高齢者医療課 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課	【研究室】 304 【所属】
【本学の科目区分】 基盤看護分野			
【D P 1】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/>			

到達目標	看護を取り巻く保健医療福祉の政策課題の分析と政策決定のプロセスを知るとともに、看護職の立場で政策形成に関与することの意義を学ぶ。		
授業概要	看護政策は、安全で良質な保健医療福祉サービスを提供するところの根幹をなし、看護の実践現場に多大な影響を及ぼすとともに、看護の課題解決にも直結している。また、保健医療福祉の政策課題は、多方面と複合的に関連しているため、政策立案や制度設計には総合的な判断によるアプローチが必要である。保健医療福祉政策の事例を通して政策プロセスや課題を総合的に検証しながら、看護職者として政策形成に関与する意義やそのあり方について学ぶ。		
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義、討議 学修課題：看護政策の概要 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・ガイダンス・看護政策の概要・看護政策の課題についてプレゼンテーション・討議・看護職の立場で政策形成に関与することの意義	
	2	備考：高林 授業内容 授業形態：講義 学修課題：都道府県における看護政策の課題と取組 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・都道府県における看護政策の課題（新潟県の例）・都道府県における看護人材の量的・質的確保の取組	
	3	備考：大戸 授業内容 授業形態：講義 学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス1 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・厚生労働省の組織・社会保障のしくみと現状・厚生労働省における看護技官の仕事	
	4	備考：長谷川 授業内容 授業形態：講義 学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス2 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・厚生労働省における政策立案・看護政策における最近の動向と看護の役割	
	5	備考：長谷川 授業内容 授業形態：講義 学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス3 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・特定行為に係る看護師の研修制度創設後の状況と見直し	
	6	備考：長谷川 授業内容 授業形態：演習 学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス4 学修内容： <ul style="list-style-type: none">・発表「看護職の立場で政策形成に関与することの意義」	

	7	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：保健医療福祉の提供体制の適正化と看護 1</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の提供体制における看護の位置づけ ・政策における平等性と公共選択 ・政策におけるステークホルダーの存在 <p>備考：坪倉</p>
	8	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：保健医療福祉の提供体制の適正化と看護 2</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策の施行に伴う財源確保 ・政策評価を通じた適正化 ・諸外国と日本の保健医療供給体制
	9	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義、討議</p> <p>学修課題：保健医療福祉政策の変遷に伴う看護政策の変遷 1</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズの変遷と保健医療福祉の提供体制の変遷
	10	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義、討議</p> <p>学修課題：保健医療福祉政策の変遷に伴う看護政策の変遷 2</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉政策の変遷に伴う看護の役割の変化 ・制度疲労と制度の永続性と変革
	11	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習</p> <p>学修課題：看護の社会的評価と政策反映 1</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の専門性の評価と役割の発揮 ・地域・施設・事業ごとに異なる看護人材の特性
	12	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習</p> <p>学修課題：看護の社会的評価と政策反映 2</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護現場の意見、研究成果、看護職集団の意見の政策反映について
	13	<p>授業内容</p> <p>授業形態：演習</p> <p>学修課題：看護人材の量的・質的確保に関する政策形成と課題の分析 1</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策分析、政策策定のエビデンス ・看護活動を発揮するために必要な働き方などの関連政策
	14	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義、討議</p> <p>学修課題：看護人材の量的・質的確保に関する政策形成と課題の分析 2</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアや地域医療構想における看護の役割の考察 ・保健医療福祉の課題分析と看護の役割の発揮・関与の在り方の分析
	15	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義、討議</p> <p>学修課題：看護人材の量的・質的確保に関する政策形成と課題の分析 3</p> <p>学修内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護人材の量的・質的確保に関する課題分析と対策 ・看護政策への参画
事前・事後学習		事前学修：興味関心のある看護政策課題をあげ、政策課題と認識した理由をまとめて臨む。 事後学修：政策課題に参画する意義を最終レポートで述べ提出する。
評価方法、評価基準		授業への主体的参加を重視し、討論への参加状況、プレゼンテーション、レポートにより総合的評価を行う。 討論への参加・プレゼンテーション状況は30%、レポートは70%とする。
テキスト		看護行政研究会編(2024)：看護六法、新日本法規出版。
参考図書・資料等		隨時紹介します。
受講、課題、資料配布等のルール		プレゼンテーションを行う場合、授業前に人数分をコピーする。 基本的には対面授業とする。
教員からのメッセージ		政策や制度は刻々と動いている。タイムリーに動向や情報を獲得・分析することにより、柔軟な視点を持ち、主体的に活動や課題対応できるような力を獲得してほしい。
オフィスアワー		主担当の高林が窓口。在室時、可能な限り対応します（事前にメール等での予約が確実）。